



「気持ちのこもった」前向きな姿勢を大切に！

2年生の国語で「大好きなもの、教えたい」という作文の授業がありました。授業の終わりに先生が「次の時間にみんなの前で発表してもらいます」と言うと「やだあ！」と言った子どもがいました。すかさず先生は、「やだ。やりたくない。と言わないようにしましょうね。みんながやる気をなくすから。」と諭しました。なるほど！

「できない」「むり」「めんどくさ～い」「ヤダー」のような否定語は多くの子どもからよく聞く言葉です。正直な気持ちを口に出したまですりやましいのですが、「できない。やりたくない。」という言葉には未来がありません。言った本人も言葉に出すことで「自分はできないんだ」と自己暗示にかかってしまうだけでなく、脳がシャッターを下ろしてしまい、理解力、思考力が落ち、ますますできなくなってしまいます。さらには、周りに与える影響も大きいと言えるでしょう。

「素質と思考の『脳科学』で子どもは伸びる」の著者の林成之先生によれば、「人間の脳は、本能を基盤にそこから生まれる気持ちと一体で機能している」とし、『否定語』により、一度『無理だ』と思ったことは、『気持ち』はもちろん体の動きまでも縛られ、課題を達成できなくなってしまいます。」と述べています。

そのためには、気持ちを込めた会話や行動、勉強をすることが子どもの脳の発達に欠かせないことであるとし、具体的には、次の10の条件を幼児期から実践することで、鋭い直観力や思考力さらには自己管理能力を高めることができるとしています。

- 1 先生を好きになる、何事にも興味を持つ
- 2 「だいたいできた」の考えをやめる
- 3 「まあ、いいか」の習慣をやめ、最後まできちっとした考えを大切にする
- 4 途中で違うことを考えない、やりだしたらそれに集中する
- 5 「無理」「できない」「勝てない」などの否定語を口にしない
- 6 自分の欠点・弱点が言え、自分をウソでごまかさない
- 7 何事にも「気持ち」を込め、感動できることを力にする
- 8 素直に全力投球することを心がける
- 9 「後で」をやめ、「今しよう」を基本に行動する
- 10 何事にも自分から進んでやる自分の「気持ち」を大切にする

10の条件は、4歳から7歳までの間にできるようにすることが最も効果的だそうですが、脳は新しい情報に瞬時に対応するので、何歳になっても努力によって素質を磨くことはできるとのことです。

教師や親の「気持ちのこもった」前向きな姿勢は、子どもにも良い影響をもたらします。教師や親は、「10の条件」の大切さを子どもたちに教え、自らも実行する姿を子どもたちに見せることで、子どもたちの持っている素質をより高めることにつながります。

「気持ちのこもった」前向きな姿勢を大切にしたいものです。



合奏部 TBC音楽コンクールで優秀賞受賞！

こども音楽コンクールの感想と地区合奏祭に向けて 6年 鈴木 彩紗

先月、こども音楽コンクールに出場しました。今年は、合奏部のほぼ半分の人が新入部員だったため、初めてのコンクールという部員がたくさんいました。私もその中の一人で「どんな所なんだろう」と緊張していました。でも、練習してきたことをやろうと決め、心をこめて演奏しました。結果は優秀賞で、あと一步のところまで東北大会をのがしてしまいました。

7年ぶりの優秀賞だったことは私もうれしかったです。でも、「こうしていたら・・・。」と考えるとすごく悔しいです。だからこそ、9月29日におこなわれる地区合奏祭では、納得のいくようにしたいです。そのために、審査員の方のアドバイスを頭に入れ、個人の力を伸ばし、みんなと心一つにして、聴いている人の記憶に残るような演奏をしたいです。



心に残る宿泊学習 4年1組 熊田 愛音

わたしたち4年生は、9月8日と9日、こおり山しぜんの家に行きました。そこでわたしは、いろいろなことを学びました。たとえば、みんなできょう力することです。自分たちでじかんをみて行動したり、シーツをしいたりもしました。

それから、さまざまな場面で、みんなのためにはたらく友達が多く、自分のことだけではなく、みんなのために何ができるかを考えられるようになりたいと思いました。グループのはん長として、先頭に立って行動できたことは、これからの生活にきっと生かされると思います。

はじめての宿泊学習は、とても楽しかったです。



キャプテンとして 6年 生田目藍斗

特設陸上部のキャプテンをやることに決まったとき、ぼくは、「サッカーチームでの経験を生かそう。」と思いました。5月から特設陸上の練習にも取り組んできたので自信をもってリーダーとしてがんばりたいと思います。

5月の日清カップの大会で負けるくやしさを知ったぼくは、そのくやしさを仲間に伝え一つの基礎練習を真剣にやっっていこうと思います。特設水泳部のがんばりに負けないよう、一つでも多くの入賞を目指しみんなでがんばります。

※10月4日(火) 陸上交流大会鏡石町鳥見山陸上競技場

宿泊学習で楽しみなこと 5年 根本颯汰

ぼくが、宿泊学習で楽しみな事、やってみたい事が一つあります。まず、楽しみな事は、新しい友達と2泊3日一緒に生活できることです。今までは、知っている友達としか話したり遊んだりしてないので、今回がチャンスだと思いました。次に、やってみたい事は、自然の中の良いところを5個以上見つける事です。ぼくは、いつも自然の良いところを感じたかったので、ぜひやってみたいと思いました。今回で2回目の宿泊なので、みんなと協力して自然の良さを見つけながら楽しく行ってきたいです。 ※5年生13日～15日那須甲子青少年自然の家